

決算報告

特別会計	目的を特定した事業収入と支出を 区別して経理する会計
------	-------------------------------

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	61 億 9,835 万円	61 億 9,616 万円
後期高齢者医療	8 億 7,899 万円	8 億 7,722 万円
介護保険	82 億 1,226 万円	77 億 6,513 万円
栗野地区農業集落 排水処理事業	2,248 万円	1,950 万円
工業団地	15 億 4,849 万円	15 億 4,489 万円
月舘宅地造成事業	971 万円	73 万円
財産区（12 区）	1,398 万円	623 万円

健全化判断比率	5 つの指標から 財政状況判断
---------	--------------------

■ 財政状況を表す 5 つの指標

市の財政状況を 5 つの指標で表して公表しています。この指標が基準値を上回る場合、早期健全化団体、財政再生団体となります。

伊達市は **5 つの指標すべてが「該当なし」「基準内」であり、健全な財政を保っています。**

比率名	令和 4 年度	早期健全 化基準	財政再生 基準
実質赤字比率	該当なし	12.63%	20.0%
連結実質赤字比率	該当なし	17.63%	30.0%
実質公債費比率	8.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	52.3%	350.0%	比率なし
資金不足比率	該当なし	20.0%	比率なし

公営企業会計	事業収入で経費をまかなう 独立採算が原則の会計
--------	----------------------------

■ 水道事業

会計名	収入	支出
収益的収支	18 億 3,920 万円	16 億 9,570 万円
資本的収支	2 億 1,049 万円	6 億 6,805 万円

■ 下水道事業

会計名	収入	支出
収益的収支	8 億 3,160 万円	7 億 997 万円
資本的収支	4 億 2,011 万円	7 億 5,955 万円

【用語解説】

- 収益的収支** …1年間の営業活動に係る収入と支出のこと。
- 資本的収支** …施設の整備・拡張など、資産の形成のための収入と支出のこと。
- 実質赤字比率** …一般会計に赤字がどのくらいあるかを表す指標。
- 連結実質赤字比率** …全ての会計で赤字がどのくらいあるかを表す指標。
- 実質公債費比率** …全ての会計で借金返済にあてる経費がどのくらいあるかを、3 年間の平均値で表す指標。
- 将来負担比率** …全ての会計で将来負担が見込まれる経費がどのくらいあるのかを表す指標。
- 資金不足比率** …全ての公営企業会計で資金不足がどのくらいあるのかを表す指標。

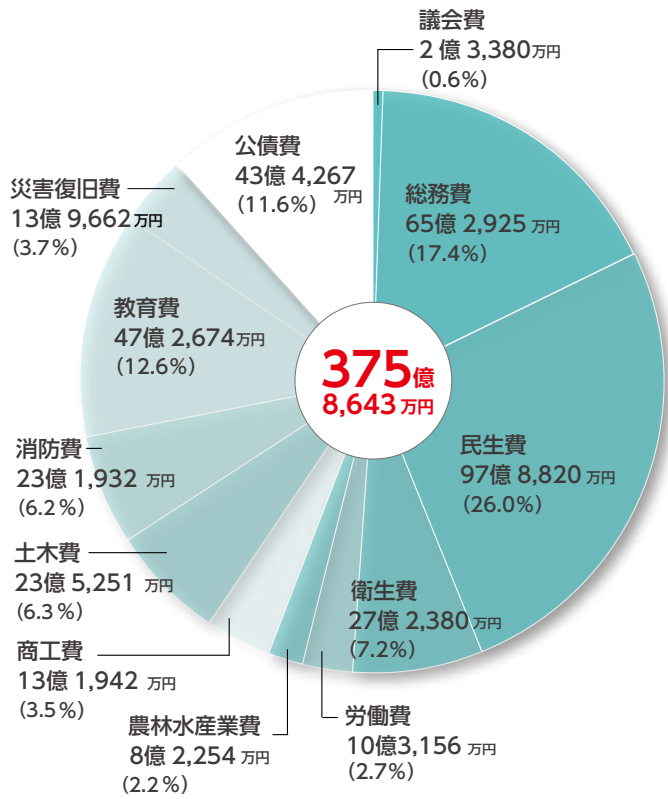
コラム 早期健全化団体、財政再生団体になると？

国の監視のもとで財政健全化や財政再生に向けて計画的に取り組まなければなくなり、事実上、お金の使い方が制限されます。借金が制限され、道路整備などがなかなか進まなくなります。

決算報告

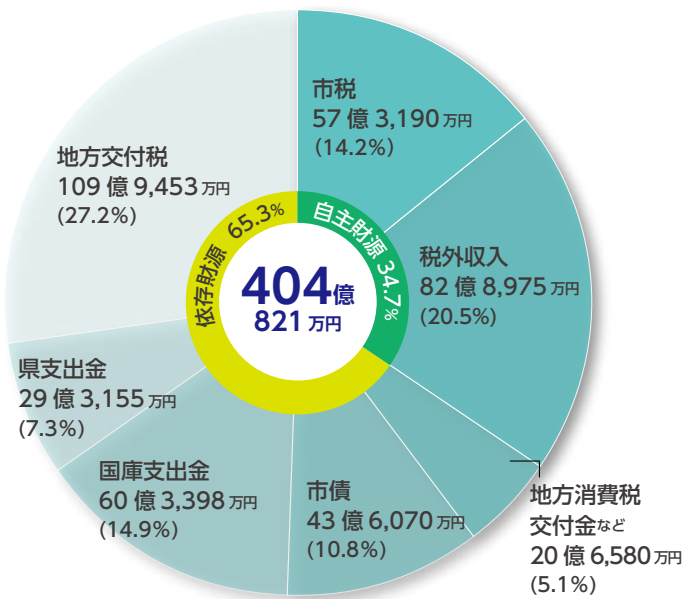
一般会計	福祉や道路整備など市の行政運営の 基本的な経費を計上した会計
------	-----------------------------------

歳出 375 億 8,643 万円



※小数点第 2 位以下は四捨五入

歳入 404 億 821 万円



令和 4 年度一般会計

歳入ー歳出	28 億 2,178 万円
R5 年度への繰越	3 億 2,659 万円
実質収支	24 億 9,519 万円

安全・安心を次世代へ

福島県沖地震対応や新型コロナウイルス対策などに活用するため、財政調整基金を約 4 億円取り崩しました。今後も歳入の確保に努め、歳出削減の徹底を図りながら、限られた財源を必要な事業に集中的に投入し、あわせて大規模災害に備えた基金積み立てなどにも取り組みながら、健全で持続可能な財政運営を目指します。

また、災害復旧事業を着実に進めながら、市民一人ひとりが安全・安心に生活することができ、次世代に安心の輪をつなぐことができるよう防災・減災事業に重点的に取り組んでまいります。

活用による学習活動充実推進支援事業」、堂ノ内地区大型商業施設誘致に関わる土地区画整理事業への支援、相馬福島道路と新工業団地のアクセス強化のため「市道西郡山柳田線」や「市道大柳石橋線」をはじめとした道路新設改良事業、地域の交流促進のための旧小手小学校リノベーション事業、フットボール場を新設した「保原総合公園拡張整備事業」、商工業発展のための「企業誘致推進事業」などを実施しました。

各事業の実施は、可能な限り有利な財源の確保に努め、自主財源の支出を抑えた予算執行を行いました。また、将来の財政負担に備えて財政調整基金、公共施設維持整備基金などへ積み立てました。

快適で住みよい、地域の魅力が輝くまちづくりと移住の促進を目指して

令和 4 年度は、第 2 次総合計画の最終年度として、「伊達小学校改築事業」、GIGA スクール構想のための「ICT

「令和 4 年 3 月福島県沖地震」災害により被災した市民を支援するため、被災住家等公費解体や住宅の応急修理等に対する支援を実施したほか、「新型コロナウイルス感染症」対策として、ワクチン接種業務を継続して実施しました。また、「コロナ禍」や「ロシア・ウクライナ情勢」による世界的な「原油価格・物価高騰」に対応するため、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しながら、市民および事業者に対しての各種支援事業を実施しました。

令和 4 年 3 月福島県沖地震に関わる災害復旧事業および新型コロナウイルス感染症対策事業を重点実施

令和 4 年度一般会計決算は、歳入総額 404 億 821 万円、歳出総額 375 億 864 3 万円となりました。

歳入から歳出を差し引いた額は 28 億 217 8 万円、そこから令和 5 年度への繰越分 3 億 265 9 万円を差し引いた実質収支は 24 億 951 9 万円となりました。

令和 4 年 3 月福島県沖地震に関わる災害復旧事業および新型コロナウイルス感染症対策事業を重点実施

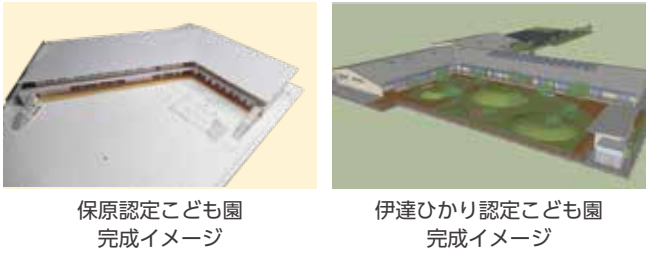
決算報告

主な使い道 令和4年度に行った事業

議会活動のために（議会費）	
議員報酬・手当など	1 億 6,277 万円

公共サービス充実のために（総務費）	
移住定住促進事業	1,502 万円
生活交通対策事業費（バス路線運行、デマンドタクシー、阿武隈急行支援）	3 億 817 万円
デジタル変革推進事業費	819 万円
旧富野幼稚園利活用事業	7,463 万円
月舘地域交流推進事業（旧小手小学校リノベーション事業）	3 億 1,755 万円

福祉・子育てのために（民生費）



臨時特別給付金給付事業費	1 億 549 万円
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	2 億 5,677 万円
保原認定こども園整備事業	5,698 万円
伊達東認定こども園整備事業	1,256 万円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	1 億 5,275 万円
出産・子育て応援事業	2,746 万円

健康づくり・環境のために（衛生費）



保健センター外観完成イメージ	元気づくり会で健康づくり
健康運動習慣化支援事業	2,699 万円
働き盛り世代の予防重視型健康づくり事業	1,607 万円
感染症予防事業費	4 億 7,205 万円
伊達市保健センター改修・増築事業	1 億 8,530 万円

地域の雇用づくりのために（労働費）

地域雇用創出・産業活性化基金積立	10 億 1,823 万円
------------------	---------------

農業振興のために（農林水産業費）

鳥獣害対策事業	4,058 万円
就農支援事業費	3,643 万円

観光・商工振興のために（商工費）



伊達市企業立地セミナー	伊達市新工業団地
商工業振興事業（コロナウイルス感染症対策事業者支援）	2 億 4,502 万円
企業誘致推進事業費	5 億 2,586 万円
霊山地区観光用施設管理事業	4,924 万円
観光でにぎわう魅力づくり事業	4,734 万円

道路・公園整備などのために（土木費）

道路施設等維持管理事業	3 億 1,663 万円
道路新設改良費	4 億 658 万円
土地区画整理事業支援業務	2 億 771 万円
保原総合公園整備費（保原総合公園拡張整備）	2 億 4,765 万円

消防設備充実のために（消防費）

災害（防災）対策事業（被災住宅等公費解体）	7 億 9,094 万円
住宅応急修理支援	2 億 718 万円

学校教育・生涯学習のために（教育費）



ICT 活用教育支援費	9,645 万円
小学校建設事業費	1 億 1,308 万円
伊達小学校改築事業	17 億 7,427 万円
中学校建設事業費	4 億 2,039 万円

災害復旧のために（災害復旧費）

農林業施設災害復旧費	2 億 1,159 万円
除染対策事業	5 億 9,482 万円
文教施設災害復旧費	1 億 1,143 万円
その他公共施設・公用施設災害復旧費	2 億 2,553 万円

市債の返済のために（公債費）

市債償還元金	41 億 8,168 万円
市債支払利子	1 億 6,099 万円

基金 市の貯金はどのくらい？

基金は、将来の負担を減らし、税収の減少や施設の老朽化などに対応するため、計画的に積み立てと取り崩しを行っています。

基金の額

基金名	令和4年度末残高
財政調整基金	25 億 5,682 万円
減債基金	8 億 2,259 万円
地域創造基金	30 億 5,313 万円
公共施設維持整備基金	18 億 8,128 万円
教育施設整備基金	7 億 9,786 万円
その他	20 億 8,833 万円
一般会計基金計（A）	112 億 1 万円
特別会計基金計（B）	10 億 1,652 万円
合計（A+B）	122 億 1,653 万円

市債 市の借金はどのくらい？

返済金の全部または一部が後で国から地方交付税として配分される「合併特例債」などを活用し、**市が自己の財源で返済しなければならない借入金は、全体の4割程度となっています。**

市債の額

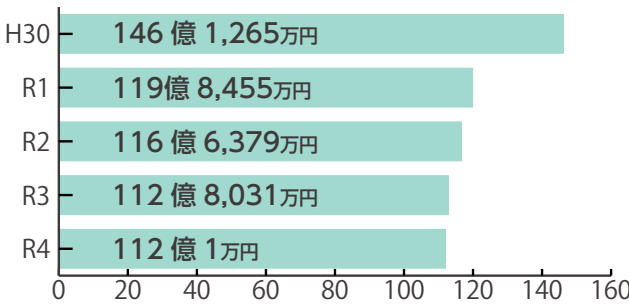
会計名	令和4年度末残高
一般会計	416 億 9,794 万円
特別会計（工業団地造成事業）	5 億 3,270 万円
公営企業会計（水道事業）	36 億 8,324 万円
公営企業会計（下水道事業）	66 億 2,506 万円
合計	525 億 3,894 万円

コラム 支出額（歳出）を市民一人あたりに換算すると…？

※R5.3.31時点の住民基本台帳の登録人口5万7,270人で計算



市の積立金（一般会計）の推移



【用語解説】

財政調整基金…災害の発生や経済の急激な悪化など税収減少に備えるもの。

減債基金…市の借入の返済を計画的に行うためのもの。

地域創造基金…地域振興の事業を行うために積み立てておくもの。

市の借入金（一般会計）の推移



市が自己財源で返済するもの 国が交付税として配分するもの

解説 どうして市債を発行するの？

市債は道路や上下水道、橋や学校などを建設する場合に発行するもの。長い期間使用する施設のため、建設したときの市民だけではなく、これから生まれてくる子どもたちや引っ越してくる人などにも公平に費用を負担していただくためです。